



TFU ALUMNI BULLETIN

東北福祉大学同窓会

会報

第 9 号

東北福祉大学

学長 萩野 浩基

〒981-8522 仙台市青葉区国見 1-8-1

電話(代) 022-233-3111

FAX(代) 022-233-3113

「せんだんの館」

特別養護老人ホーム
12月1日オープン

仙台市とフィンランド政府が共同で進めるフィンランド健康福祉センター事業の一環となる特別養護老人ホーム「せんだんの館」の落慶法要が十一月二十七日、仙台市青葉区水の森の同所で行われた。運営は社会福祉法人・東北福祉会が担当。本学の関連施設としては十一カ所目になり、十二月一日に開所した。

市との共同事業

北欧で実施されている自立型福祉の優れた要素を多分に取り入れたのが、ここ特別養護老人ホーム「せんだんの館」。発足して九年になる東北福祉会の総力を結集した施設でもある。

落慶法要後の開所式で、東北福祉会の板橋登美

理事長は「自立を中心にした社会福祉を展開し、住民が元気で幸福な人生を送れるようお手伝いをしたい」と抱負を述べ、萩野浩基学長が「予防福祉を原点に、障害を持った方々や高齢者から学ばせていただく」とあいさつした。

来賓を代表して仙台市の藤井黎市長が「ITと人材を活用した優れたサービスが提供できる施設であり、新しい福祉を開拓していく」と期待を込めて話した。また、フィンランド国立社会福祉保健研究開発センター(スタケス)の

ヴァップ・タイパレ総裁が「well being のコンセプトは健康であるということ。個々人だけでなく社会にとって大切。本事業に協力していただいた仙台市と大学に出会えて、うれしい」と祝辞を述べた。

最新設備を備えた建物は地上五階、地下一階、延べ床面積9、660平方メートルの鉄筋コンクリート造り。東西の棟が中央棟で連結されるツインタワーの形をとっている。施設ではユニットケア方式を導入し、プライバシーを重視した完全個室はトイレ、洗面所、ミニキッチン付きで、定員は百人。ほかに短期入所二十人、ショートステイ十五人を受け入れる。

施設の特徴として地域のコミュニケーションセンター機能や介護予防、トレーニング室、住環境、入居者の生活パターンを尊重する基本姿勢が挙げられる。

とりわけ身体機能の残存部分を維持するため、リハビリ用の流水プール(縦3・5、横2・5、深さ1・8)や、バイクやスリング(吊りひも)の機器にボール、マットなどがあるトレーニング室が充実している。自立生活に欠かせない身体機能の維持を図る点は、すでに北欧型福祉施設で実践され、大きな成果を上げている。

隣接地には地元企業や大学、フィンランド政府が健康福祉機器やサービスの開発研究(R&D)に取り組みための施設が三月の開業を目指し、建設されている。

日本とフィンランドに共通するのは感性豊かな国民性。両国が手を携え、新たな福祉がここから始まる。



特別養護老人ホーム「せんだんの館」



トレーニング室



流水プール



焼香する萩野学長



あいさつする板橋理事長

運営は関連法人「東北福祉会」

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と



学生食堂

十月一日の後期開始に合わせて福聚殿内の学生食堂が全面改装された。二号館側のテラス部分が屋内に入り、約6%面積が広がった。色彩豊かなサビビスカウンターがメニューごとに分かれ、明るく、衛生的な雰囲気になっていく。

主な改善点は9つ。①調理場の充実②メニューの整備③テーブル、座席数の増加④自習室の新設⑤カフェコーナーの充実⑥障害者用トイレ設置⑦ブラズマディスプレイ増設⑧空調設備⑨購買店の拡張など。

営業時間は9:30~19:00(平日、ただし17:00以降は限定メニュー)、9:30~14:00(土)。

3号館エレベーター

昭和四十七年十二月に建てられた三号館が体に優しいバリアフリー仕様の建物に生まれ変わった。九月二十五日に完工。内容は①正面に車イス対応の十五人乗り展望エレベーターを設置。一階から四階までの所要時間は約15秒。②バルコニーと教室の段差を解消。これまで15cmの段差があったが、コンクリート打ちで水平になった。③教室の出入り口サッシの改善。間口が広がり、ハンガードで半自動的に閉まる。④トイレの全面改装。便座がすべて洋式になった。二、三階中央に身障者用トイレが新設された。⑤バルコニー、階段4カ所に手すりを設置。⑥教室の床、壁の内装と模様替え。⑦バルコニーの外側を塗装。これらの改善は本学が求めるゆとりのある教育、環境整備に基づいて行われた。

ガーデニングデッキ

本学正門右手にある建物、学生サポートセンターの屋上部分に憩いの場所「ガーデニングデッキ」が誕生した。七月中旬から約二カ月かけて完成。面積約290㎡の屋上は四方をウッドフェンスで囲まれ、そのうちの約40%が本芝や樹木の緑化部分で占められ、地球温暖化防止にも一役買っている。屋根付き(東屋)と藤棚下にテーブル合わせて6、ベンチが16個配置されている。緑は半自動散水器で保護される。

早速、建物一階のファミリーマートで買い物をした学生や授業後、仲間同士の団らんの場として利用されている。開放時間は9:00~18:00(平日)。

鉄人OBの真骨頂

スイム1・5キロ、バイク40キロ、ラン10キロ、計51・5キロのコースで争われるトライアスロン競技。鉄人レースとも称されるが、この種目で昨年のアテネ、その前のシドニーと2大会連続で五輪出場を果たしたのが平成九年度卒の西内洋行さん(元デイケイ、現フリー)だ。日焼けした顔ときれいに剃り上げた頭が精悍さがほとばしる。▼在学中は水泳部に所属し、昨年の十月十日、水泳部同級生の結婚式に出席するため、勤務先の兵庫県から前日、来仙した。その際、かねてから体育系同好会トライアスロン部の部員たちが話を聞きたがっていると、聞かされていた西内さんは、後輩のために時間を割いてくれた。折しも台風22号が東北地方を縦断するという悪天候の中だったが、約束の場所に駆け付けてくれた。▼五輪2度の日本代表、世界で戦う選手を目のあたりにした三年女子と二年男子の部員二人は緊張を隠せなかったが、先輩の包み込むような優しさに引き込まれ、用意した質問をおつけた。泳ぐ距離は毎日どれぐらいいいかな?に「距離を2千から4千に増やしても疲れが出て続かない。ならば2千で継続する方がいい。継続は力なり」。また、学生時代にしておく経験にバイットの勧めがあった。「社会勉強になり、人と接することで幅が広がる」と強調。自らは一年次に朝二時半起床で新聞配達を四カ月こなしたという。▼授業に部活動加えてバイト、というタフネスさに、後輩たちもア然。男子部員が差し出した色紙に書いたことばは「日々是修行」。さすが三年後の北京で3大会連続五輪出場を目指す先輩は掛け値なしの鉄人である。(国見 太郎)

学 一 如

卒の西内洋行さん(元デイケイ、現フリー)だ。日焼けした顔ときれいに剃り上げた頭が精悍さがほとばしる。▼在学中は水泳部に所属し、昨年の十月十日、水泳部同級生の結婚式に出席するため、勤務先の兵庫県から前日、来仙した。その際、かねてから体育系同好会トライアスロン部の部員たちが話を聞きたがっていると、聞かされていた西内さんは、後輩のために時間を割いてくれた。折しも台風22号が東北地方を縦断するという悪天候の中だったが、約束の場所に駆け付けてくれた。▼五輪2度の日本代表、世界で戦う選手を目のあたりにした三年女子と二年男子の部員二人は緊張を隠せなかったが、先輩の包み込むような優しさに引き込まれ、用意した質問をおつけた。泳ぐ距離は毎日どれぐらいいいかな?に「距離を2千から4千に増やしても疲れが出て続かない。ならば2千で継続する方がいい。継続は力なり」。また、学生時代にしておく経験にバイットの勧めがあった。「社会勉強になり、人と接することで幅が広がる」と強調。自らは一年次に朝二時半起床で新聞配達を四カ月こなしたという。▼授業に部活動加えてバイト、というタフネスさに、後輩たちもア然。男子部員が差し出した色紙に書いたことばは「日々是修行」。さすが三年後の北京で3大会連続五輪出場を目指す先輩は掛け値なしの鉄人である。(国見 太郎)

予防福祉セミナー in 奄美大島

宮城・山梨からも参加

予防福祉に力を注ぐ本学が十一月十六日、鹿児島県奄美大島本島で開かれた「予防福祉セミナー in 奄美大島宇検村」(主催・宇検村同振興育成財団)に参加した。

高年齢者が元気に暮らしている地元・宇検村に宮城県気仙沼市大島山梨県北都留郡上野原町桐原(ゆづりはら)の三地域の参加者が一堂に会して、健康と長寿について話し合った。

先月完成したばかりの宇検村生涯学習センターを会場に、村の住民や福祉関係者ら約二百人が詰め掛けた。元山三郎村長が「長寿と健康を振り返り、三地域で交流を深めたい」とあいさつした。

宇検村

宇検村の住民で八十一歳の吉岡常次さんは「長生きにはゆとりが必要」と、働くこと以外に、知人との付き合い、地域とのつながりが大切なことを話した。また、本学の加藤伸司教授が気仙沼市大島で暮らす高齢者の様子を、山梨県出身の雪江美久教授が桐原の特徴などを報告した。

三地域で共通したのが「生涯元氣・現役の秘けつ」。セミナーを見守った大竹榮総務局長は「三地域の人には何でも自分でやるという姿勢がある。からだ、こころ、あたまが働いている」と指摘した。

生涯現役でいるためには「心身ともに自立した生活」が今回のセミナーを通じて、あらためて浮き彫りになった。



熱を帯びたシンポジウム

平成 7 年
(1995 年)
当 時

阪神大震災を契機に
全学支援態勢を確立

東北福祉大学は一八七五年（明治八年）に曹洞宗専門支校として誕生した。幾多の変遷を重ね一九五八年（昭和三十三年）に短期大学になり、六年（同三十七年）に四年制大学に昇格、社会福祉学部社会福祉学科を設けた。短大時代から数え、今日まで卒業生の数は約二万九千人に達する。さて、大学の時々を振り返るシリーズも第9回になる。十月に新潟県中越地震が発生し、本学では全学挙げて支援態勢を築いた。今回は本学が最初に取り組んだボランティア年の一九九五年（平成七年）を取り上げる。死者六千人強と戦後最大の自然災害となった阪神大震災のことだった。

M・7・3 直下型地震

今から十年前の一月十七日午前五時四六分、近畿地方を中心にマグニチュード（M）7・3の直下型地震が襲った。兵庫県の神戸市などで震度7を記録。家屋は倒壊し、道路は崩落。電気、水道、電話などのライフラインは寸断され、被災地は戦場さながらの様相を呈した。

神戸、阪神間からの学生三十八人を抱える本学は二月初旬、萩野浩基学長ら三人が神戸入りし、現地の惨状を肌身で感じた。帰仙後、直ちに学生を中心にした「東北福祉大学ボランティア会」が結成さ

れた。神戸市の許可を得て被害の最も大きかった長田区の二葉公園内に二階建てプレハブの拠点本部を設置。三月一日から約三カ月にわたり、十人単位の学生と教職員が二週間交替で精力的な活動を行った。「ボランティア会」に登録した学生約七十人と、個人的に駆け付けた学生を合わせ、その数は延べ

百二十人に上った。もちろん「福祉の大学」としてできる限りのことをする」方針の大学はボランティア活動を特別な単位として認定するなど全面的支援に乗り出した。内容は救済物資の仕分けから炊き出し、老人介護、避難家族の幼児保育、マッサージ、役所への手続き支援まで多岐にわたった。なかでも喜ばれたのが本部一階に設けられた臨時保育室「わんぱくくらぶ」。後片付けや仕事を抱える保護者に感謝された。また、少しでも被災者の心をなごませようとサークル「ビュティーズ」が行うマッサージがつかの間のやすらぎを与えた。

これらの活動は、三月十七日河

北新報夕刊に長田区災害対策本部の話として「福祉を学んでいる学生たちの長期的活動は、非常にありがたい」と紹介



甚大な被害が及んだ長田地区

仮設テントでのミーティング

本学の主な災害復旧支援ボランティア		
年 月	出 来 事	内 容
1995 年 1 月	阪神大震災	約 3 カ月、延べ 120 人が交替で現地滞在
1997 年 1 月	日本海重油流出事故	男女学生 10 人が重油の塊を除去
1998 年 8 月	那須・福島集中豪雨	野球部員ら 13 人が土砂、流木を撤去
1999 年 8、9 月	トルコ・台湾大地震	学生有志が街頭募金
2000 年 3 月	北海道有珠山噴火	サークル「ちょこぽ」22 人が街頭募金
2003 年 7 月	宮城県北部連続地震	延べ 150 人が家屋の廃材分別や撤去作業
2004 年 11 月	新潟県中越地震	約 2 カ月、延べ 150 人が 5 班に分かれ活動

新潟県中越地震ボランティア

十月二十三日、新潟県中越地震が発生すると、本学は直ちに職員を現地に派遣。視察後の二十九日に対策を協議するため緊急会議が開かれた。開口一番、大竹榮総務局長が「痛ましい。あすはわが身だ。大学として何ができるか早急に取りかろう」と呼びかけた。

まずは拠点をどこにするか。本学は、被災地の長岡市で社団法人・長岡福祉協会「こぶし園」の園長を務める小山剛特任助教（昭51卒）の協力を得て、同園内に現地本部を設置。二階建てプレハブを活動拠点にした。本学ボランティアセンターを中心に学生が次々に名乗りを挙げ、早速、派遣メンバーの編成に着手した。

十一月八日に学生二十五人、教職員七人から成る第一陣がバスで現地向かった。翌日から二人一組になって、ボランティアの要請のあった家を訪ねて掃除や、た



山古志村の長島忠美村長（右端）と本学スタッフ

す運びなどを行った。また、被災地の体育館には救済物資が続々と運び込まれ、防寒具など大人用、子供用の仕分け作業に追われた。今回が初めてのボランティア体験だという北川聡君（社教四年）は「おばあさんのお手伝いをしたら、心から感謝された。人の役に立ってんだなあって思うと、逆に感謝したいくらいだ」と話した。

新潟県内の出身学生は二百七十七人。メンバーは十二月二十六日まで第五陣に分かれ、十日間ずつの交替で学生、教職員延べ約五百五十人が災害復旧に精力を傾けた。第五陣支援隊は山古志村の長島忠美村長から感謝の意を頂戴した。

また、入試関係ではAOⅣ期の二次選考から新潟市内に受験会場を設け、災害救助法適用地に該当する受験生の入学選考料を免除。学生部では奨学金を希望する学生の対応に当たった。



こぶし園の小山剛園長を囲んで

された。当時、仙台―神戸間の往復三十三時間、バスの運転を繰り返した総務課の広浦幸一現助教（災害福祉論担当）は「やはり、百聞は一見にしかず。されど、一見は体験にしかず」と振り返った。

センター設立に貢献

机上で学ぶ福祉の理論とは別に、現実を目の当たりにした学生には貴重な実践の場であった。この年の国見祭二日目の十一月四日、音楽堂で「阪神・淡路大震災ボランティアフォーラム」が開催された。災害を一過性のものにするこなく全体会と二つの分科会を通して、災害時における備えなど、活発な議論が繰り広げられた。貴重な体験は県内各地で写真パネルや報告会でも伝えられた。これら一連の動きが翌年の「みやぎ災害救援ボランティアセンター」設立に大きく貢献したのは言うまでもない。

二〇〇四年度公開フォーラム

「こころの科学の最前線

二〇〇四年度東北福祉大学公開フォーラムが十二月十八日、音楽堂・けやきホールで開催された。市民ら約六百人が参加。第一部のテーマは「こころの科学はどこまで進んだか」。第二部は「精神障害の正しい理解と偏見の是正」。萩野浩基学長が「病気の人が一人でも多く社会参加できるように考えていきたい」と開会のあいさつ。佐藤光源教授が「こころの病気が治るということ」をテーマに基調講演。



会場の質問に答える佐藤光源教授

精神障害への偏見は正

「こころの病は回復する。しかし、回復しても世の中が、あの人は病気があったと偏見を持つ。何として、も是正しなければ」と強調した。

平成 17 年度一般選抜（A 日程・B 日程・C 日程入試）試験日程等

区分	学 科	出願期間	試 験 日	試 験 会 場	合格発表日	試 験 科 目
A 日程	社会福祉学科	平成 16 年 12 月 24 日(金)	1 月 29 日(土)	仙台：本学、札幌：札幌予備学院、青森：アスパム、盛岡：岩手教育会館、秋田：秋田予備校、山形：山形県勤労者福祉センター、郡山：郡山商工会議所、さいたま：マロウドイン大宮、東京：東京農業大学、新潟：プラザ文化センター新潟、大阪：天王寺予備校	平成 17 年 2 月 9 日(水)	〈必須〉 国語（国語Ⅰ・国語Ⅱ※古文・漢文を除く） 外国語（英語Ⅰ・英語Ⅱ・リーディング・ライティング）
	産業福祉学科	～	1 月 30 日(日)			
	福祉心理学科	平成 17 年 1 月 22 日(土)	1 月 31 日(月)			
	社会教育学科	〔必須〕				
B 日程	社会福祉学科	平成 17 年 2 月 10 日(水)	2 月 20 日(日)	仙台：本学、青森：アスパム、盛岡：岩手教育会館、秋田：秋田予備校、山形：山交ビル、郡山：郡山商工会議所、新潟：プラザ文化センター新潟	平成 17 年 2 月 26 日(土)	〈A、C 日程は 1 科目選択〉 世界史 B 日本史 B 地理 B 政治経済 数学（数Ⅰ〈必須〉、数Ⅱ・数 A・数 B から選択） 生物 IB 〈B 日程は小論文、論題は当日出題〉
	産業福祉学科	～	2 月 21 日(月)			
	社会教育学科	平成 17 年 2 月 17 日(水)				
	福祉心理学科	〔必須〕				
C 日程	社会福祉学科	平成 17 年 2 月 12 日(土)	3 月 15 日(火)	仙台（本学）のみ	平成 17 年 3 月 18 日(金)	
	産業福祉学科	～				
	社会教育学科	平成 17 年 3 月 10 日(水)				
	福祉心理学科	〔必須〕				

※ AO 入試、特別選抜入試は前年に終了しました。

平成 17 年度大学院今後の入学試験日程 II 期選考

〔修士課程〕	出 願 期 間	選 考 日	合 格 発 表 日
通学制・一般	平成 17 年 1 月 18 日(火)～平成 17 年 2 月 18 日(金)	平成 17 年 2 月 23 日(水)	平成 17 年 3 月 7 日(月)
	・社会人	平成 17 年 2 月 14 日(月)～平成 17 年 3 月 9 日(水)	平成 17 年 3 月 12 日(土)
通 信 制	平成 17 年 2 月 1 日(火)～平成 17 年 2 月 26 日(土)	平成 17 年 3 月 5 日(土)	平成 17 年 3 月 11 日(金)
	〔博士課程〕	平成 17 年 1 月 18 日(火)～平成 17 年 2 月 16 日(水)	平成 17 年 2 月 19 日(土)

平成 17 年度 入試情報

入試事務室 TEL 0227-717-3312 FAX 0227-717-3332
■総合福祉学部
問い合わせ TEL 0222-233-2211 FAX 0222-233-2212
■通信教育部
社会福祉学科・社会教育学科・福祉心理学科
■通信制大学院
総合福祉学研究科（修士課程）
問い合わせ TEL 0227-717-3315 FAX 0227-717-3335
■大 学 院
総合福祉学研究科（博士・修士課程）

頑張ってます

企業内定者発表会

業界・企業研究セミナーが開かれる前二日間の十二月一、二の両日、企業内定者体験発表会が341、321教室で行われた。企業への就職を希望する学生が初日約百人、二日目約六十人が参加。両日も四人の内定者(別表の通り)が教室の前に座り、一人ずつ司会者の就職部・平間正志さんの絶妙な問いかけに答えた。

内容は①ズバリ「合格」の決め手は②なぜ、企業を選択したのか③福祉大生であることの強み④面接準備、などで学生の関心が高いと

インターンシップ報告会

平成十六年度インターンシップ報告会が十一月十七日、本学マルチメディア、121、演習16の3教室で行われた。七年目になるインターンシップ制度だが、昨年の三十五人から増え、五十一人が参加。学生は夏休み期間中の八月から九月にかけて約十日間、受け入れ先の各事業所で研修。二十八人の学生が各担当者を前に、研修のまとめを発表した。

持ち時間は五分だが、密度の濃い内容に、参加した事業所の担当者から「研修を通じて前向きな姿勢はうちの社員にもいい刺激になっている」、「福祉大の学生は目



研修報告をする学生

キャンパス便り

野球教室 硬式野球部OB会主催

本学を卒業したプロ野球選手による「野球教室」(硬式野球部OB会主催)が十二月四日、国見ヶ丘第一キャンパスの室内練習場で行われた。毎年開催され、今年で三回目。宮城県内の八つの少年野球チームから小・中学生約二百人、指導者や保護者らを含め総勢約三百人が参加した。

講師は司会を務めた上岡、関根、熊谷の各氏と、仙台を拠点にする新球団の楽天からドラフト指名された塩川君の四人。千葉幸喜OB会長が「野球の楽しさを感じてほしい」とあいさつした。

上岡氏は「この野球教室は二年半前に亡くなった伊藤義博前監督への恩返しの意味が込められている」と野球をこよなく愛した前監督がいたことを参加者に伝えた。

講師が紹介された後、メニューは本学が大切にしているあいつか

参加した本学出身のプロ選手

名前	位置	所属球団	卒業年度
上岡良一	投手	前日本ハム	昭和63年度
関根裕之	投手	日本ハム	平成5年度
熊谷 陵	投手	前ボストンレッドソックス	平成13年度
塩川達也	内野手	楽天	平成16年度

※塩川は卒業予定



少年・少女に説明する上岡OB

日本一主将・塩川君が楽天へ

昨年日本一を飾った硬式野球部の主将、塩川達也内野手が十一月十七日のプロ野球ドラフト会議で仙台を本拠地にする新球団「東北楽天ゴールデンイーグルス」から五順目の指名を受けた。

塩川君は「仙台は第二の故郷だし、精いっぱいやる」と抱負を話した。二年春からレギュラーで、同秋リーグ戦で三冠王に輝いた走、攻守の三拍子がそろった逸材。

山路哲生監督も「一年目からチャンスがある。それだけの力の

吹奏楽部 二年連続銀賞受賞

第五十二回全日本吹奏楽コンクールが十月三十日、東京文化会館で開かれ、東北代表として二年連続三度目出場の本学は二年連続で銀賞に輝いた。課題曲「鳥たちの



楽天入りの塩川主将

成人式で誓いの言葉



高橋さん 社会教育学科二年の高橋望美さん

が成人の日の一月十日、仙台市の市体育館で行われた成人式で新成人を代表して誓いの言葉を述べた。

あてやかな晴れ着姿で登壇し「生きがいのある人生を歩みたい」と手話を交えて力強く誓った。

仙台市の新成人約一万五千人のうち約八千人が出席。代表者らしい堂々たる宣誓だった。

ソフトボール 日本代表 第一回世界女子大学ソフトボール選手権大会に本学三年の藤崎由紀子が日本代表として出場した。十月二十六日から六日間、米国フロリダ州で開催され日本、米国、中国、台湾、カナダ、豪州、オランダ、グアテマラの八カ国が参加。三位決定戦では勝ち越し打を放つなど、メダル獲得に貢献した。

体育会各部の成績



藤崎さん 学三年の藤崎由紀子が日本代表として出場した。

陸上競技部 全日本5000競歩高島大会 (十一月七日、山形県高島町)▽女子2000競歩 鈴木澄子(一年)1時間39分48秒 3位

第59回宮城県駅伝競走大会 (十一月二十一日、石巻市)本学A 2時間44分34秒 優勝

アイスホッケー部 第77回日本学生氷上競技選手権大会 (一月五日、釧路市)▽2回戦 東北福祉大 0-2 立命館大

フィギュアスケート部 女子学校対抗得点①早大②本学

ハンドボール部 全日本学生選手権大会 (十一月二十四日、沖縄・浦添市)▽男子2回戦 東北福祉大 26-33 中部大

▽女子1回戦 東北福祉大 20-26 大 大

剣道部 第23回全日本女子学生優勝大会 (十一月十四日、名古屋市愛知県武道館)

陸上部 駅伝全国出場

陸上部男子は十一月七日に行われた秩父宮賜杯第36回全日本大学駅伝対校選手権に二年連続二度目の出場。名古屋市の熱田神宮西門前をスタートし、伊勢市内の伊勢神宮内宮宇治橋前をゴールに8区間、106.8kmで争われた。

本学は二区の大泉が立命館大、大阪体育大、東北大を一気に抜き去ったほか、五区の主将・清水が力走し、18位だった昨年を上回る15位に入った。参加校は25。

大会はテレビ朝日系列局で全国中継された。

世界の民族衣装

芹沢銈介美術工芸館には型染め作品のほかに「もうひとつの創造」と称されているコレクション約1000点が所蔵されている。中でも銈介氏が世界中から収集した作品95点を展示した「世界の民族衣装」展が十月一日から十二月十八日まで、同館で開催された。

銈介氏は三十二歳の一九二七年(明治二年)に朝鮮を旅したが、晩年になると世界各地の民族工芸品の収集活動に没頭するようになった。六六年昭和四十一年のスペイン・バルセロナのカタルーニャ美術館の往復途上にはエジプトやトルコなど欧州各地を、その二年後には米大陸、七六年にフランスを歴訪した。

これらの旅を通じて集められたコレクションは多数に上った。え



和服女性もウットリ

作品を展示した期間中は十月十六日、十一月二十日、十二月四日の三回にわたりギャラリー・トークが行われ、見学者が学芸員の説明に聴き入った。

十一月二十日には東北各地から集まった着物教室の和服を着た女性六人を含む十一人の男女が訪れた。学芸員の奈良綾さんが六階の展示ホールに飾られた作品を一つ一つ説明するたびに、熱心にメモをとる姿が見受けられた。

中国の蝦夷綿から始まり、アフガニスタン、ウズベキスタン、台湾、インドネシア、アフリカ、南北アメリカなど世界各地の衣装を前にして、五十代の和服女性には「それぞれ特徴的で、すごいですね」と感想を漏らした。

銈介氏の審美眼にかなったこれらの名品の数々に、見学者は時を越え、美の世界に酔いしれた。

東北福祉大学 芹沢銈介美術工芸館 展示予定

年	2005 年				2006 年
月	1月20日(木)~3月28日(月)	4月24日(日)~7月23日(土)	8月5日(金)~9月15日(木)	10月1日(土)~12月18日(日)	1月20日(金)~3月28日(火)
展示内容	芹沢銈介作品にみる吉祥文様	芹沢銈介コレクション 朝鮮の美術工芸	新収蔵品の芹沢銈介作品	アイヌ文化 一信と美の工芸	芹沢銈介デザインのカーテン

開館時間 10:00~16:30 (入館は16:00まで)
休館日 展示替え期間、創立記念日(9/25)・入試期間
入館料 一般300円、大学生200円(高校生以下、本学学生は無料)

〒981-8522 仙台市青葉区国見1丁目8番1号
東北福祉大学2号館内 TEL 022-717-3318
FAX 022-717-3324

同窓会便り

各県同窓会総会報告

宮崎県同窓会



宮崎県同窓会設立総会

として萩野浩基学長が出席。

始めに設立準備会の本部哲男代表(昭48卒)があいさつ。続いて稲葉秀二郎氏(昭49卒)が設立に至るまでの経過説明を行い、設立に向けての議案の審議に入った。提出議案は原案通り満場一致で承認され、正式に宮崎県同窓会が誕生した。

設立記念として萩野学長が「飛躍する東北福祉大学と社会福祉の新しい展開」と題し、講演を行った。

設立総会は昨年八月七日、ホテルプラザ宮崎で開催された。来賓

山形県同窓会

定例総会は昨年九月二十三日、ヤマコホールで開催された。来賓として萩野浩基学長が出席。

総会に先立って、大学受験者を対象にした入試説明会を行い、広報課の千葉幸喜課長、通信教育部の青柳勉課長がそれぞれ説明した。続いて公開講座が開かれた。同窓会と本学共催で「社会的貢献に寄与し、内外に開かれた同窓会を目指す」という目的に沿ったもの。記念講演は本学の田中治和教授が「社会福祉史における山形学」と



山形県同窓会総会

討議され、原案通り承認された。懇親会には通信教育部に在籍する学生の出席もあり、和気あいあいとした雰囲気で開催された。

国際展示会で入賞

独学で画家活動



福智一正さん

「国際名誉作家」である福智一正さん(本名・泰生)が、国際展示会で数々の賞に輝いている。

ベネチア国際芸術協会認定の

昭和五十四年度の卒業生で、現在北海道・帯広市に在住。

大学卒業後、アルバイトの傍ら通信教育でアクリル画を学んで二十二年。国内での公募展では毎年入選を果たしている。

国際展では「日伊ラ・メラビリア展」の出品作が「美の航海者賞」に、「カンヌ国際芸術祭」では「コートダジュール国際芸術賞」、「アヴィニオン百芸祭」では「アヴィニオン大礼讃賞」を受賞している。

このような受賞に「大変励みになる。今後も絵をかき続けたい」と意気軒高に喜びを話した。

新潟県同窓会

を持った人たちの集まりだけに、実現した喜びを互いにかみしめ、一人ひとりが感無量の面持ちだった。

昨年十月三日、高齢者センター「けさじろ」(長岡市)で、本学後援の公開講座と総会が開かれた。来賓として出席した江尻行男教授が大学の現状を紹介しながらあいさつした。

総会では、同窓会の名称を全国統一する機運にならない「新潟県支部」から「新潟県同窓会」に改称することが承認された。



江尻先生を囲んでの懇親会

公開講座は小山剛氏(昭51卒)により扱ったことや、偽り、その他不正な手段によって個人情報取得することなどの禁止、本人から直接書面で個人情報取得する場合の明示、間接の場合の通知または公表すること。適正・安全管理に関するルール。個人データと安全管理に関するルール。個人データと安全管理に関するルール。個人データと安全管理に関するルール。

「個人情報」とは、個人に関する情報で、これに含まれる氏名、生年月日、その他の記述等により、特定の個人を識別することができるものをいいます。

個人情報取扱事業者として施行後、どのようなルールを守らなければならないのかを列記してみると、

利用・取得に関するルール。個人情報利用目的をできる限り特定し、利用目的達成に必要な範囲を超えて個人情報を取

屋。そこは夢や空想の世界が広がる空間である。

「ある日、机の上のえんぴつが、『おい／＼お前／＼机の上を見てみる／＼』と話しかけてきた……。僕は神野洋明・中学三年生だ。僕の不思議の旅はこうして始まった」という書き出し。

言葉の暴力に悩む少年。そこに鉛筆が部屋に現れ、励ましを受ける。その鉛筆の支えが、やがてトラウマを克服していくファンタジー物語。

新風舎1103(3736) 46 48。一、二九九円。

誰かが記憶にある自分だけの部屋。そこは夢や空想の世界が広がる空間である。

北海道釧根地区同窓会

昨年十月三十一日、釧路全日空ホテルで、設立二年目を迎えた総会と本学共催の公開講座が開かれた。井川哲雄会長(昭44卒)から公開講座を「未来の自分を見つめてみたい」というテーマにした趣旨説明があり、特別講座として三浦俊二教授が「平成十八年度介護保険制度改正と今後の動向について」講演した。

おし園園長が講師を務め「小規模・多機能サービスとは？サポーターセンター構想の実践から」と題して行われた。事例を交え、具体的に分かりやすい説明に、出席者は大いに刺激を受けていた。

続いて、阿部裕二教授が「年金改革が私たちの生活に及ぼす影響について」と題して、基調講演を行った。



三浦・阿部両先生を囲んで

懇親会では「新潟県中越地震」で被災した方々への義援金募金緊急提案され、賛同を得て、早速実行された。

以上、個人情報取扱事業者としてのルールを簡略に説明しました。

同窓生の皆さんも、今後気軽にアンケートへ回答することによって情報が収集されることもあるので、個人情報をむやみに提供しないよう、自分の情報は自分で守る、という意識をもつて、大切な個人情報を守ってください。

かじめ本人の同意を取らないで、第三者に提供することの禁止。このことから、同窓・同期・同級

日本感性福祉学会に協力

各県同窓会事務局に参加呼びかけ

日本感性福祉学会第四回大会が昨年十一月十二、十三の両日、本学を主会場に開催された。

この学会では、人が心を豊かにして幸せに生きる福祉社会のあり方や、その実現のために「感性」をキーワードに研究・実践を深めていこうという新しい国際的な活動に取り組んでいる。

準備を進める中で、大会準備委員長を務める阿部一彦教授が同窓会事務局に訪れた。「本学会の意義

を広く理解してもらうためにも、ぜひ同窓生にも参加をいただきたい」との申し出があった。

事務局では趣旨に賛同し、早速、各地区の同窓会事務局に案内状を送付して、参加を呼びかけた。

参加した群馬県同窓会の前原欣一事務局長(昭53卒)は「大いに勉強になった」と感想を話した。

群馬県同窓会



群馬県同窓会総会

昨年十一月二十日、県内在住同窓生を対象に、第二回研修会が前橋東急インで開催された。研修会は会員が一堂に会して自己研鑽を

昨年十一月二十日、宇都宮市の栃木県青年会館コンセールで、総会と懇親会が開かれた。総会で事務局提出案件を満場一致で承認。ただし、出席者が約二十人にとどまった点が反省事項として、緊急に取り上げられた。

今年は設立五周年の節目の年。記念総会を開催するにあたり、その内容、時期に関して意見交換が

木県青年会館コンセールで、総会と懇親会が開かれた。総会で事務局提出案件を満場一致で承認。ただし、出席者が約二十人にとどまった点が反省事項として、緊急に取り上げられた。

今年十一月六日、宇都宮市の栃木県青年会館コンセールで、総会と懇親会が開かれた。総会で事務局提出案件を満場一致で承認。ただし、出席者が約二十人にとどまった点が反省事項として、緊急に取り上げられた。



佐々木先生を囲んでの記念撮影

積み、かつ自分の職業にも生かそうという目的を持つ。

今回は佐々木千鶴子助教授を講師等による住所変更のあった場合、及びお知り合いの同窓生で会報未着の方がおりましたら同窓会事務局までご連絡を。

▽異動データの修正 氏名・住所・勤務先等の異動や転居先不明によるデータの修正件数は、この一年で1,537件に及びます。異

動等による住所変更のあった場合、及びお知り合いの同窓生で会報未着の方がおりましたら同窓会事務局までご連絡を。

▽会報重複者の届出数 平成16年12月現在、104件の重複届出がありました。会報が二部届いておりましたらお知らせください。

▽異動データの修正 氏名・住所・勤務先等の異動や転居先不明によるデータの修正件数は、この一年で1,537件に及びます。異

師を迎え「ストレスとコミュニケーション」と題して、講演が行われた。ストレス社会の問題点や人間関係の複雑さから生じるストレス解消策について、分かりやすい説明に出席者から大きな拍手が起った。

続く懇親会では出席者が佐々木助教授を囲み、和やかに充実した時間を過ごした。

保育士課程同窓会

第十五回保育士課程同窓会総会及び懇親会が昨年十二月五日、本学事務棟四階の会議室で行われ

家族的雰囲気の総会



家族的雰囲気の総会

佐藤美恵教授が出席した。

総会では、役員改選が協議され、田中佳二会長(昭62卒)が再任された。

この同窓会は会員が子どもを同伴して出席できる点が特徴になっている。そのため懇親会では子供たちを飽きさせない工夫を凝らしている。小道具を使ったゲームなどが用意され、その準備や演出に役員はおおわらわ。それだけにスタッフは喜ぶ子どもたちの姿を見て、ホッと一安心。会では佐藤教授お手製の赤飯が振る舞われ、出席者が感激していた。

動等による住所変更のあった場合、及びお知り合いの同窓生で会報未着の方がおりましたら同窓会事務局までご連絡を。

▽異動データの修正 氏名・住所・勤務先等の異動や転居先不明によるデータの修正件数は、この一年で1,537件に及びます。異

動等による住所変更のあった場合、及びお知り合いの同窓生で会報未着の方がおりましたら同窓会事務局までご連絡を。

▽異動データの修正 氏名・住所・勤務先等の異動や転居先不明によるデータの修正件数は、この一年で1,537件に及びます。異

動等による住所変更のあった場合、及びお知り合いの同窓生で会報未着の方がおりましたら同窓会事務局までご連絡を。

▽異動データの修正 氏名・住所・勤務先等の異動や転居先不明によるデータの修正件数は、この一年で1,537件に及びます。異

動等による住所変更のあった場合、及びお知り合いの同窓生で会報未着の方がおりましたら同窓会事務局までご連絡を。

▽異動データの修正 氏名・住所・勤務先等の異動や転居先不明によるデータの修正件数は、この一年で1,537件に及びます。異

動等による住所変更のあった場合、及びお知り合いの同窓生で会報未着の方がおりましたら同窓会事務局までご連絡を。